



# 城南中だより

舞鶴市立城南中学校  
令和6年7月1日発行  
第4号 通算679号

<http://jonan-maizuru.edumap.jp/> TEL 75-0137



## より良く生きる

盛夏の候 保護者・地域の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

地域のご高齢の方より学校にお手紙を届けて頂きました。6月初旬のある日のこと「いつものように下校を見守っていたところ、生徒から思わぬあたたかい声かけを重ねて送られ、とても感動しました」という内容でした。何気ない一言で人を支え、笑顔にすることのできる「言葉」のもつ威力について、頂いた内容と併せて改めて全校生徒とともに噛みしめたのは、申しあげるまでもありません。

生徒達が地域社会に貢献し評価して頂けることは、城南中学校全体にとっての励みになります。うれしい話題をありがとうございました。

入学式から早3か月、おかげさまで充実した中学校生活を過ごし、初々しかった新入生たちも着実に成長しています。

## さらなる高みへ

6月は市民スポーツ大会への参加・舞鶴支援学校との共同授業の開始・1年生校外学習・紫陽花隊清掃活動・2年生総合的な学習の時間第1弾「平野屋商店街訪問」など、各学年で校外とつないだ活動を活発に行い充実した月になりました。活動の一部は学校HPに掲載しておりますので、ご覧ください。

6月29日に開催されました「中学生の主張大会」では、市内7中学校から選出された生徒たちが、自分自身を改めて見つめ直した事柄や、積み重ねてきた努力などに基づいて、様々な思いを発表しました。「我が国の伝統、命の大切さ、ジェンダー・LGBTの話題、貴重な出会いと成長」など、今年も素晴らしい発表が行われました。

本校からは、3年生の船原さんが「差別のある社会と『価値観』」と題して、グローバル化・情報化等によって激しく変化する現代社会における、互いの望ましい関係性の在り方について発表しました。奇しくも、本年度から本校区で取り組む「インクルーシブな学校運営モデル事業」の根幹である確かな「人権意識」の醸成等と深く関わる主張でした。生徒会として取り組んだ能登半島復興支援をはじめとする、自らの体験を通じて形作られていった心の変容や、2016年に施行された差別解消法などから導き出した、新しい経験に挑戦し正しい情報を発信したり得た情報が正しいものか判断する力を高めることの大切さについて、素直な文体でまとめ、丁寧に述べた姿が評価されました。

さて、7月は「1学期をしっかりと締めくくり、学んだことを定着させること」「各種大会等に向けてチームワークを高め、一試合一試合で良いプレーができるよう、イメージを共有して整えること」を目標に取り組みます。

保護者・地域の皆様方のかかわらぬご理解とご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

校長 福本 浩介 教職員一同



より良い学校教育で、より良い社会をつくる